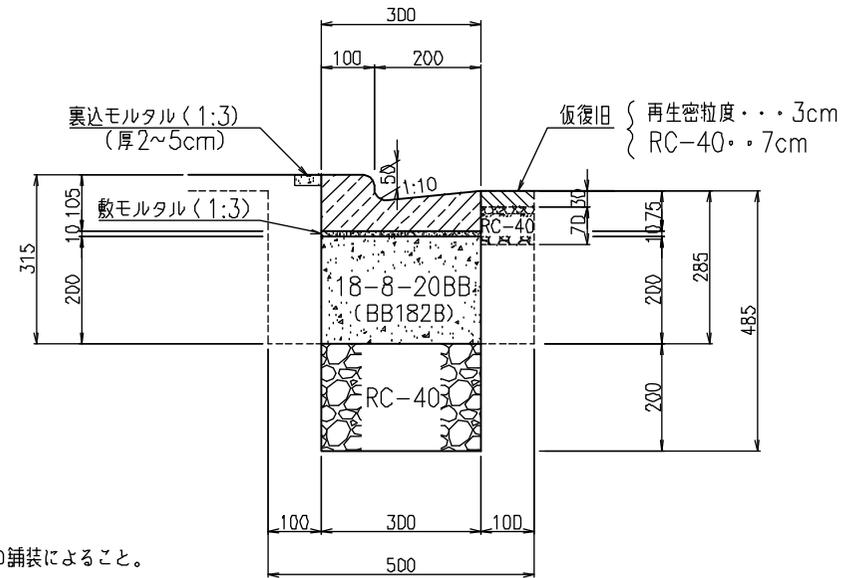
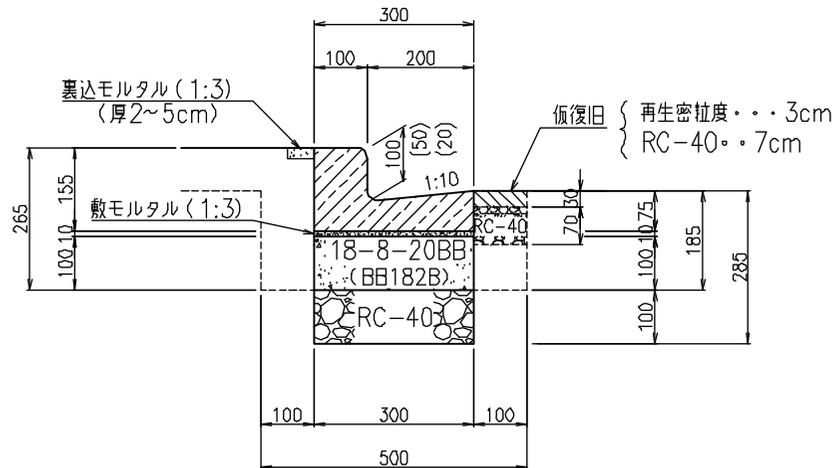


L形側溝工構造図 (20L 20L車乗入部) S=1:10

排水工
L形側溝工
20L 20L車乗入部

L形側溝 (鉄筋コンクリートL形、20L)

L形側溝 (鉄筋コンクリートL形、20L) 車乗入部



※ 仮復旧については参考とし、打替路線の舗装によること。

※ 基礎コンクリート型枠の入らない所は、ビニールシートを使用すること。

材料表

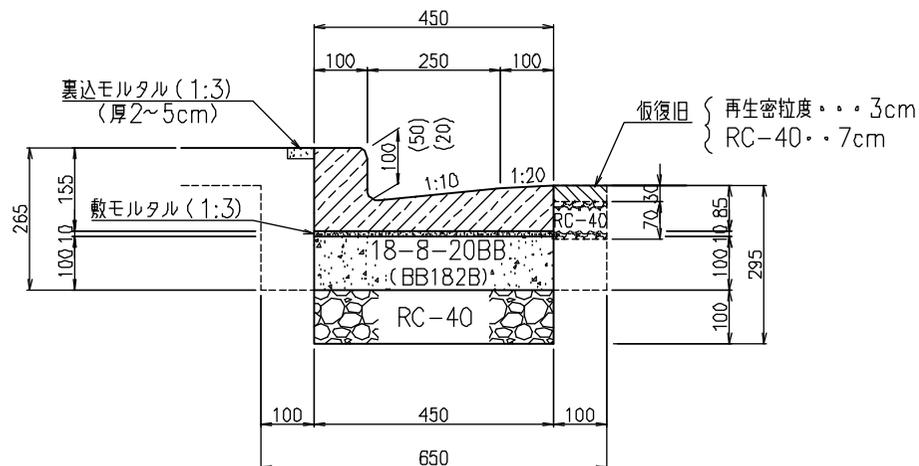
(100m当り)

材料名	形状寸法	単位	20L	20L車乗入部
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	3.0	6.0
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	m ³	3.0	6.0
モルタル 1:3	敷モルタル	m ³	0.3	0.3
L形ブロック	20L 総幅300	個	165.0	165.0

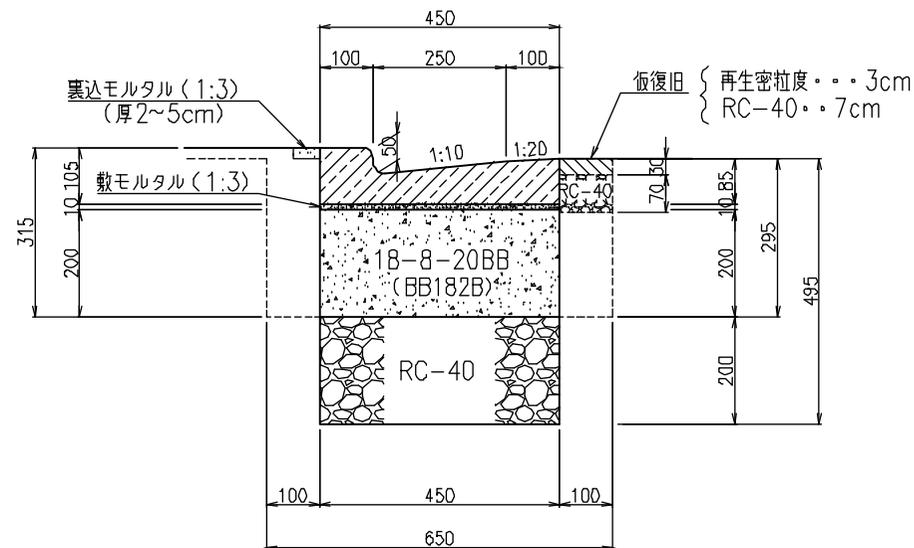
L形側溝工構造図 (25L 25L車乗入部) S=1:10

排水工
L形側溝工
25L
25L車乗入部

L形側溝 (鉄筋コンクリートL形、25L)



L形側溝 (鉄筋コンクリートL形、25L) 車乗入部



※ 仮復旧については参考とし、打替路線の舗装によること。

※ 基礎コンクリート型枠の入らない所は、ビニールシートを使用すること。

材料表

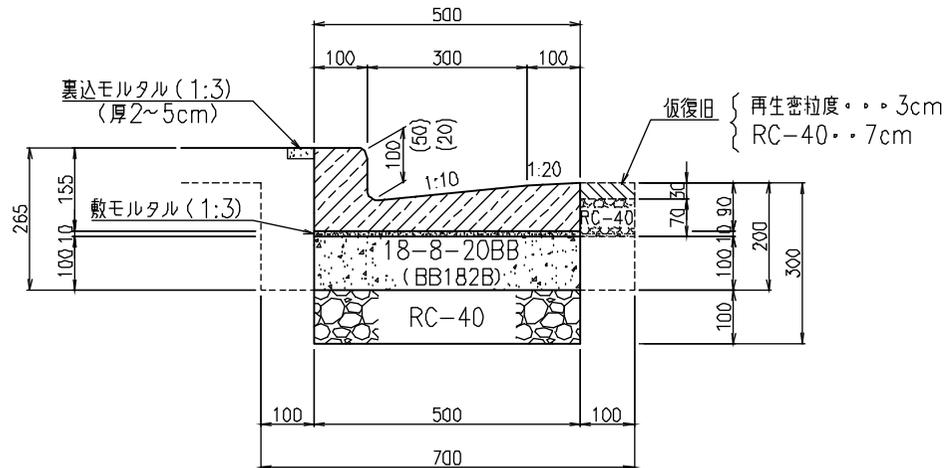
(100m当り)

材料名	形状寸法	単位	25L	25L車乗入部
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	4.5	9.0
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	m ³	4.5	9.0
モルタル 1:3	敷モルタル	m ³	0.5	0.5
L形ブロック	250B 総幅450	個	165.0	165.0

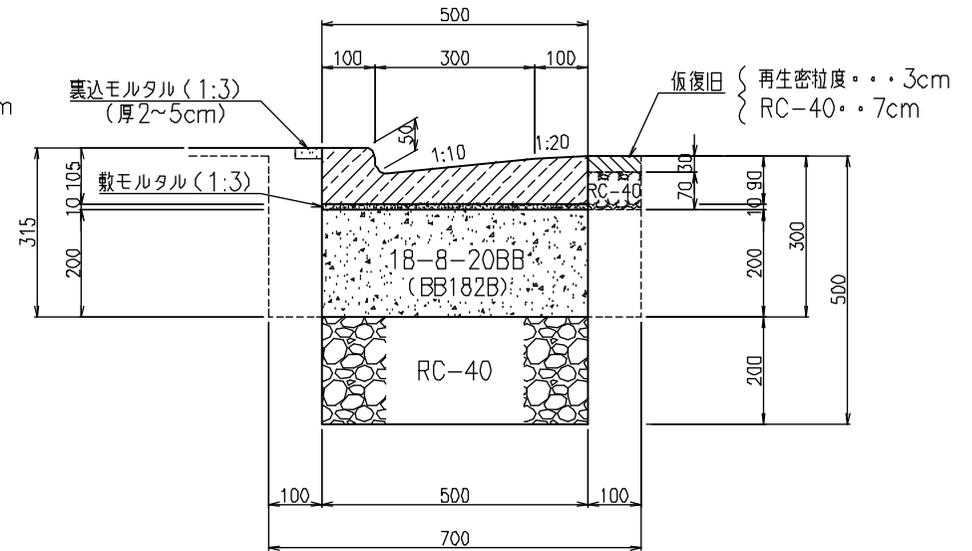
L形側溝工構造図 (30L 30L車乗入部) S=1:10

排水工
L形側溝工
30L 30L車乗入部

L形側溝 (鉄筋コンクリートL形、30L)



L形側溝 (鉄筋コンクリートL形、30L) 車乗入部



※ 仮復旧については参考とし、打替路線の舗装によること。

※ 基礎コンクリート型枠の入らない所は、ビニールシートを使用すること。

材料表

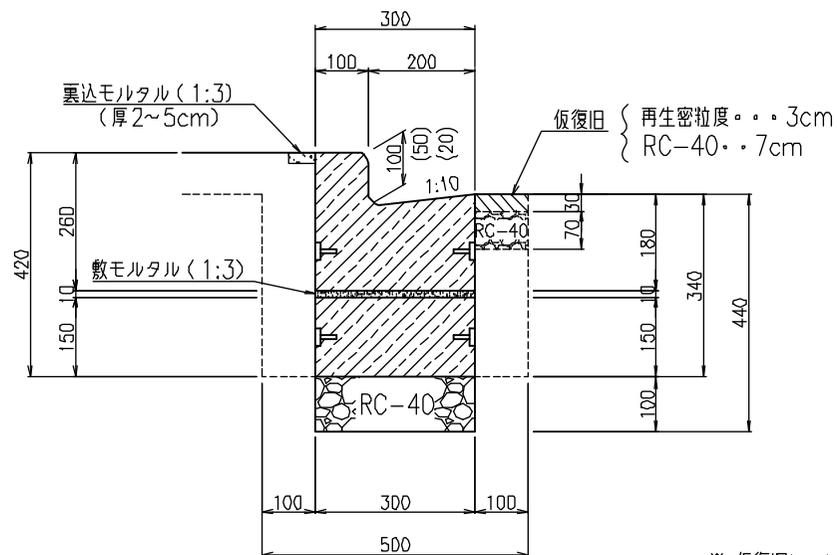
(100m当り)

材料名	形状寸法	単位	30L	30L車乗入部
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	5.0	10.0
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	m ³	5.0	10.0
モルタル 1:3	敷モルタル	m ³	0.5	0.5
L形ブロック	300B 総幅500	個	165.0	165.0

プレキャストL形側溝工構造図(20L) S=1:10

排水工
プレキャストL形側溝工
プレキャスト20L

プレキャストL形側溝(鉄筋コンクリートL形、20L)



※ 仮復旧については参考とし、打替路線の舗装によること。

材料表

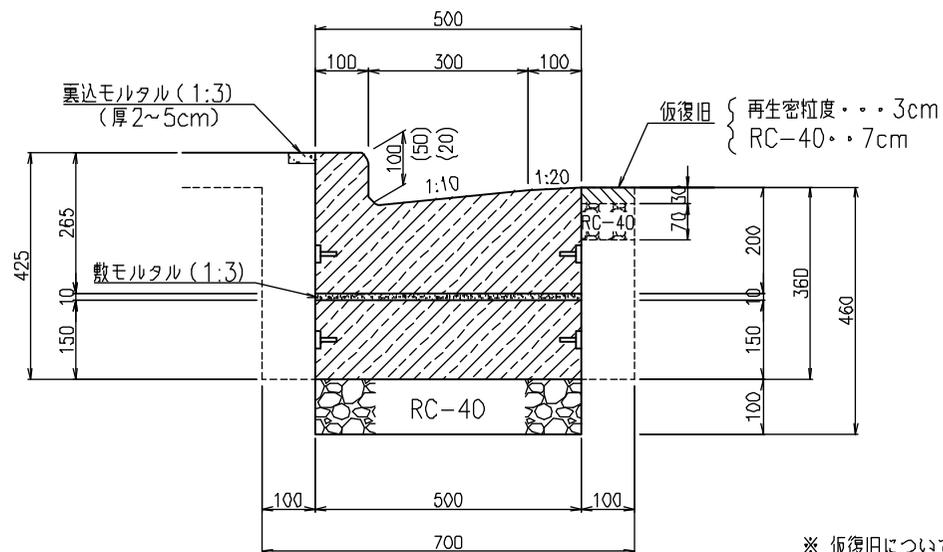
(100m当り)

材料名	形状寸法	単位	20L
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	3.0
モルタル 1:3	敷モルタル	m ³	0.3
プレキャストL形ブロック	20L 総幅300	個	50
プレキャストL形ベース	総幅300	個	50

プレキャストL形側溝工構造図(30L) S=1:10

排水工
プレキャストL形側溝工
プレキャスト30L

プレキャストL形側溝(鉄筋コンクリートL形、30L)



※ 仮復旧については参考とし、打替路線の舗装によること。

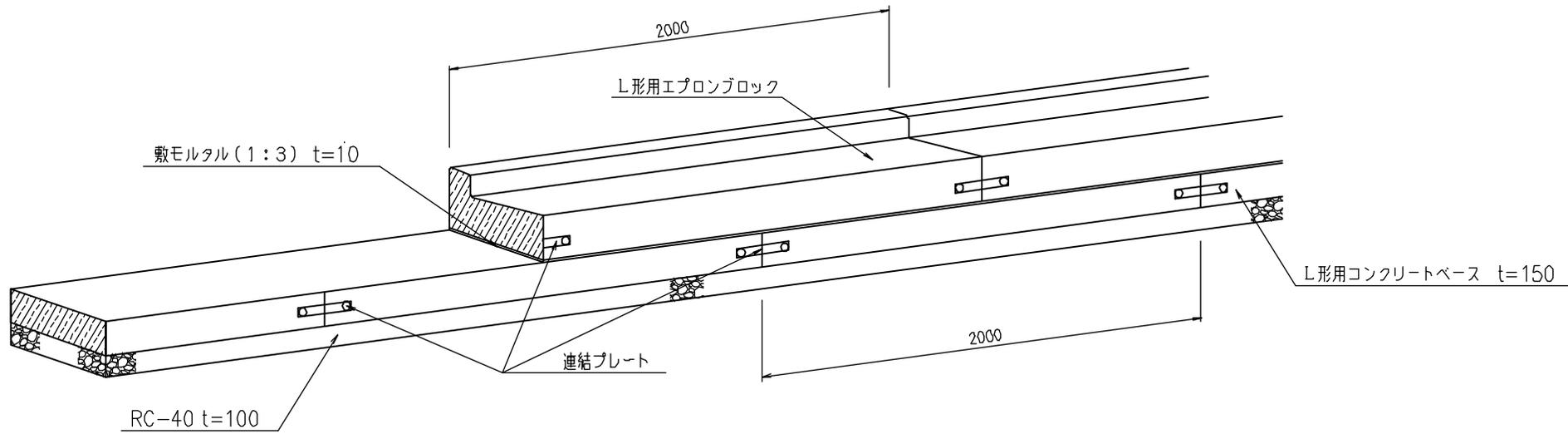
材料表

(100m当り)

材料名	形状寸法	単位	30L
再生クラッシュヤラン	RC-40	m ³	5.0
モルタル 1:3	敷モルタル	m ³	0.5
プレキャストL形ブロック	30L 総幅500	個	50
プレキャストL形ベース	総幅500	個	50

プレキャストL形 敷設図

排水工
プレキャスト L形側溝図
プレキャストL形 敷設図

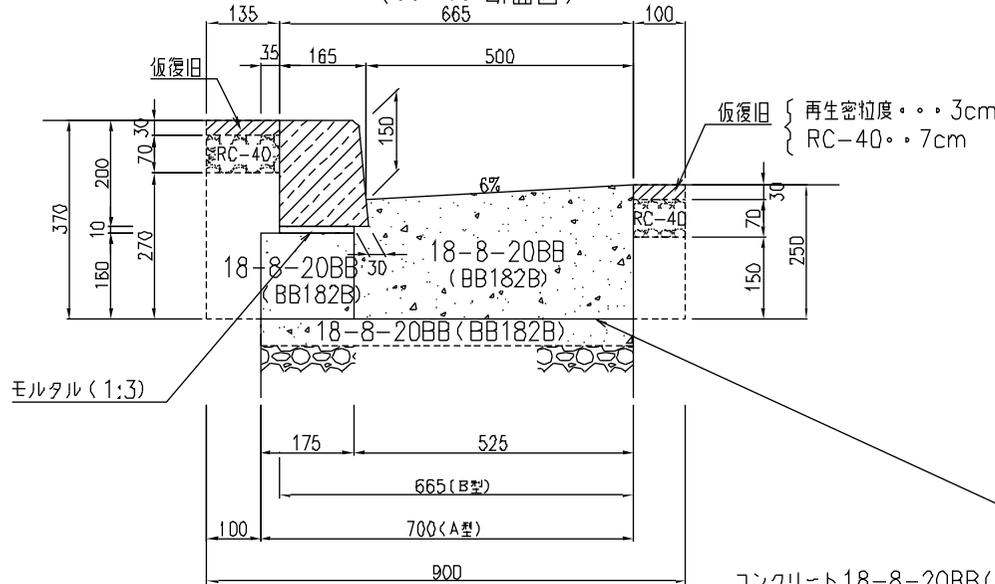


街きよ構造図 (155型) S=1:10

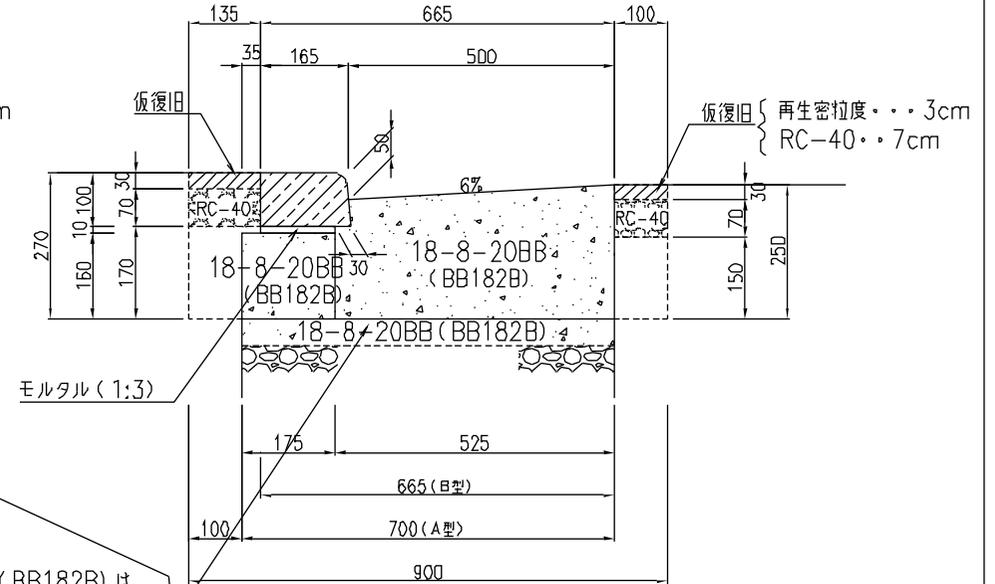
幅500mm A型 B型(エプロン横断勾配6%)

排水工
街きよ築造工
155用 一般部 車乗入用切下部 巻込部・切下部

一般部断面図
(A-A断面図)



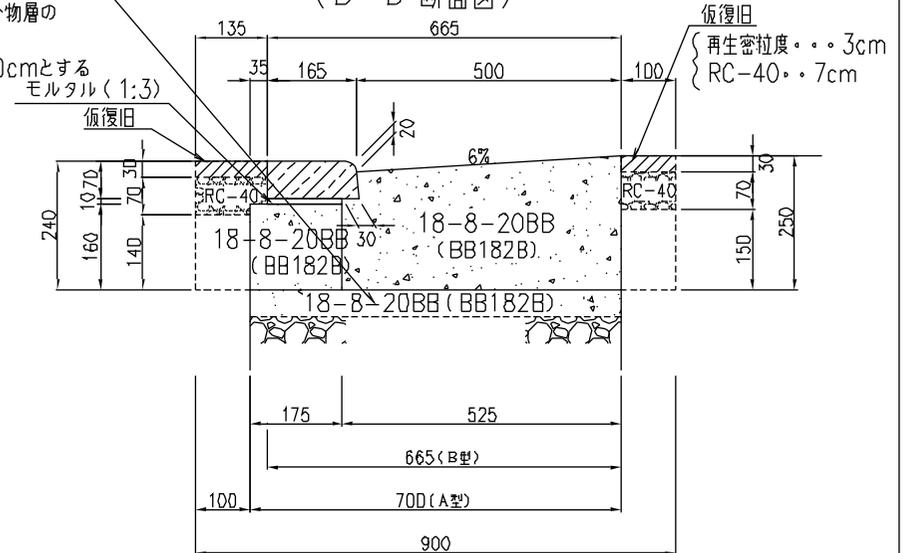
車乗入用切下部 (5cm) 断面図



※仮復旧については参考とし、打替路線の舗装によること。
 ※街きよます間の中央に施工目地を設ける。
 ただし、1.0m未満の場合は除く。
 ※各ブロック間には、目地モルタルを設ける。

コンクリート18-8-20BB (BB182B) は調整用として用いる(別途計算)
 基礎工は車道路盤に準ずる
 また、表層・基層・アスファルト処理混合物層の合計厚が25cm以下の場合
 再生クラッシュラン(RC-40)基礎を10cmとする

巻込部・歩行者横断用切下部 (2cm) 断面図
(B-B断面図)



材料表

材料名	形状寸法	単位	(100m当り)		
			一般部	車乗入用切下部	巻込部・歩行者横断用切下部
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	m ³	15.0	15.0	15.0
モルタル 1:3	敷・目地	m ³	0.1	0.1	0.1
歩車道境界ブロック	150/170×200×600	個	165.0	-	-
歩車道境界ブロックB1平	160/170×100×600	個	-	165.0	-
歩車道境界ブロック	163/170×70×600	個	-	-	165.0

歩行者横断用切下部・摺付部街きょ構造図(155型)

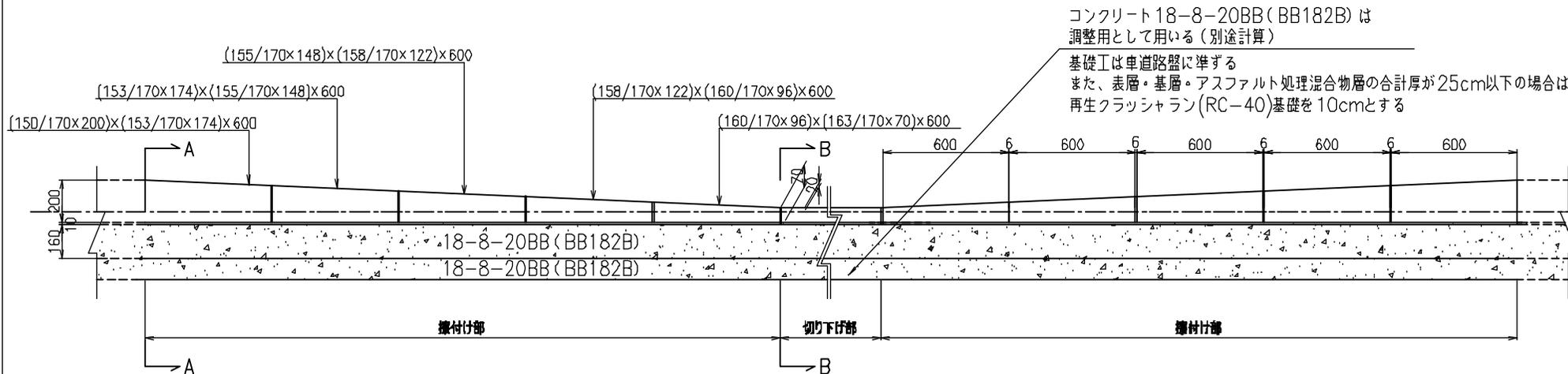
(エプロン横断勾配 6%)

排水工

街きょ築造工

155 摺付部
切下部

正面図(歩行者横断用・5段落し) S=1:20



※各ブロック間には、目地モルタルを施すこと。

※A-A、B-B断面はP2301-2参照

材料表

(両側100箇所当り)

材料名	形状寸法	数量	単位	摘要
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	90.7	m ³	
モルタル 1:3	敷・目地	0.9	m ³	
型枠		345.4	m ²	
歩車道境界ブロック	(150/170×200) ×(153/170×174)×600	200	個	
〃	(153/170×174) ×(155/170×148)×600	200	個	
〃	(155/170×148) ×(158/170×122)×600	200	個	
〃	(158/170×122) ×(160/170×96)×600	200	個	
〃	(160/170×96) ×(163/170×70)×600	200	個	

※本材料表は、摺付部両側の数量である。

車乗入用摺付部街きょ構造図(155型)

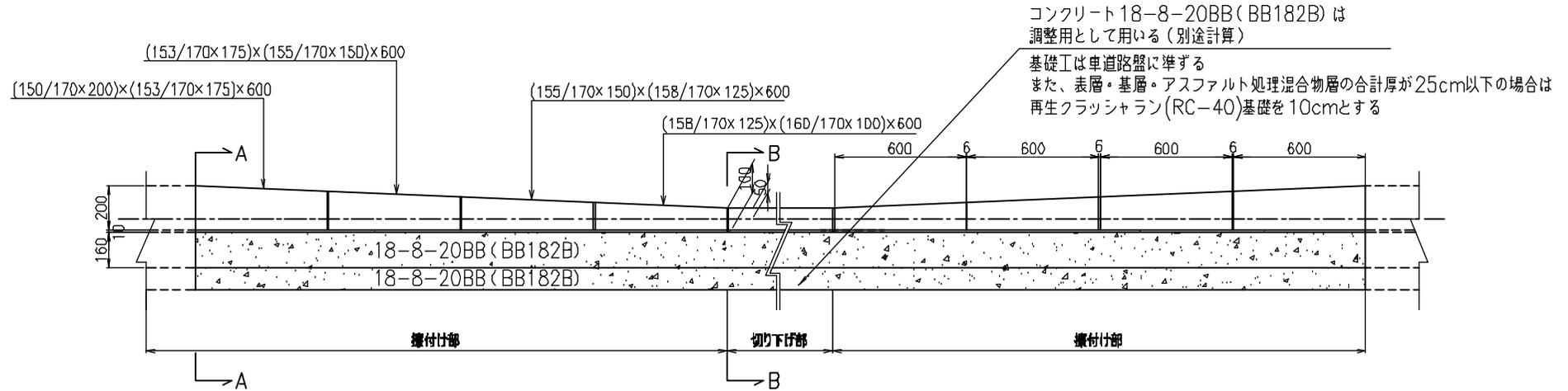
(エプロン横断勾配 6%)

排水工

街きょ築造工

155 摺付部
切下部

正面図(車乗入れ用・4段落し) S=1:20



材料表

(両側100箇所当り)

材料名	形状寸法	数量	単位	摘要
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	90.7	m ³	
モルタル 1:3	敷・目地	0.9	m ³	
型枠		345.4	m ²	
歩車道境界ブロック	(150/170×200) ×(153/170×175)×600	200	個	
〃	(153/170×175) ×(155/170×150)×600	200	個	
〃	(155/170×150) ×(158/170×125)×600	200	個	
〃	(158/170×125) ×(160/170×100)×600	200	個	

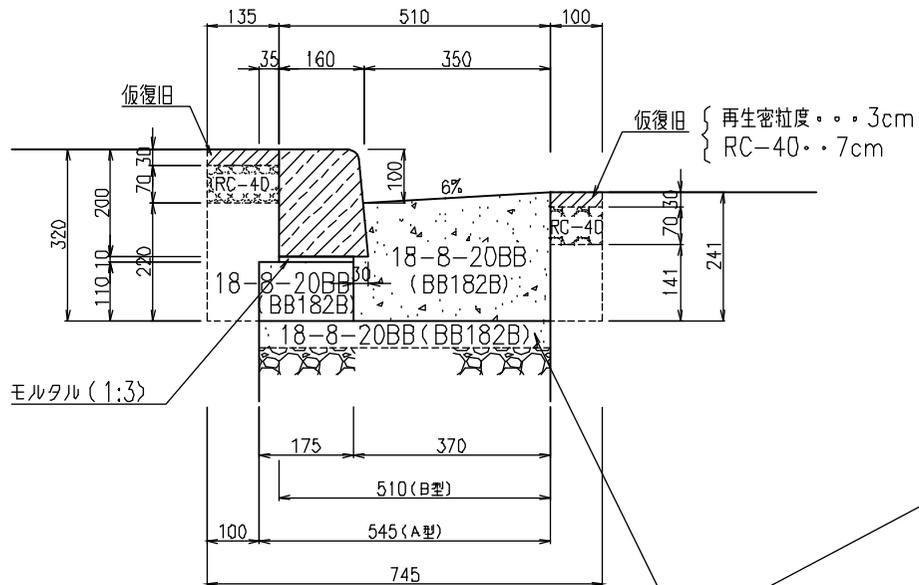
※本材料表は、摺付け部両側の数量である。

街きよ構造図(1035型) S=1:10

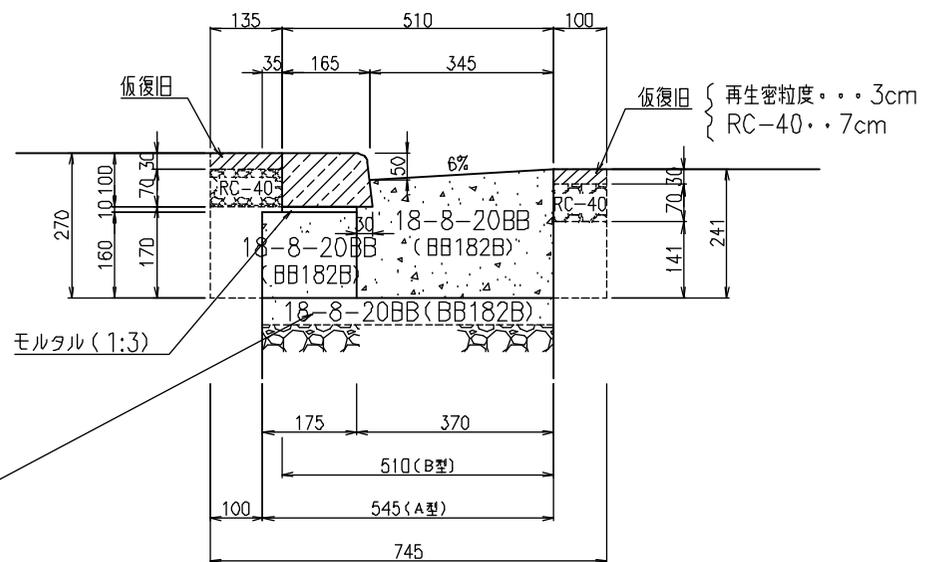
幅350mm A型 B型(エプロン横断勾配6%)

排水工
街きよ築造工
1035用 一般部 車乗入用切下部 巻込部・切下部

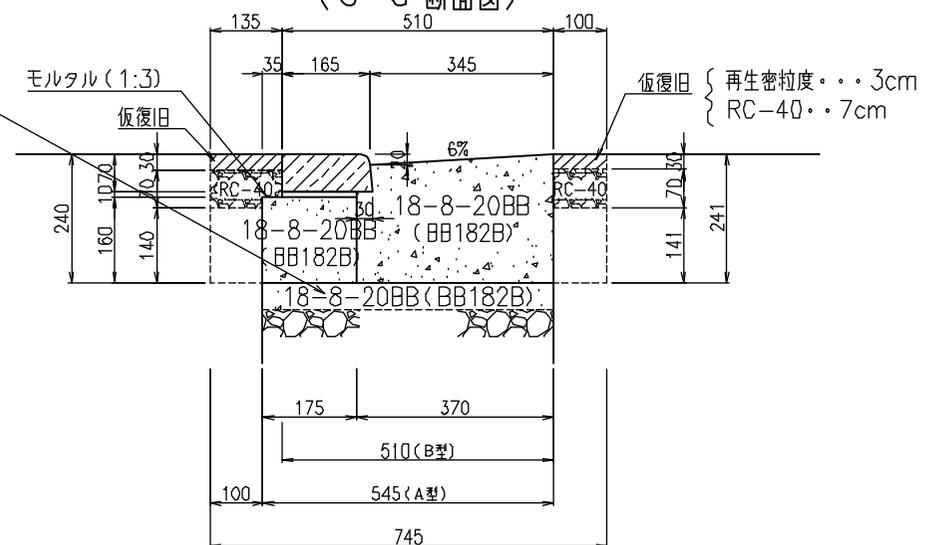
一般部断面図
(A-A断面図)



車乗入用切下部(5cm)断面図
(B-B断面図)



巻込部・歩行者横断用切下部(2cm)断面図
(C-C断面図)



コンクリート18-8-20BB(BB182B)は調整用として用いる(別途計算)
基礎工は車道路盤に準ずる
また、表層・基層・アスファルト処理混合物層の合計厚が24.1cm以下の場合
は再生クラッシュラン(RC-40)基礎を10cmとする

※仮復旧については参考とし、打替路線の舗装によること。
※街きよます目地の中央に施工目地を設ける。
ただし、1.0m未満の場合は除く。
※各ブロック間には、目地モルタルを設ける。

材料表

材料名	形状寸法	単位	(100m当り)		
			一般部	車乗入用切下部	巻込部・歩行者横断用切下部
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	m ³	10.2	10.2	10.2
モルタル1:3	敷・目地	m ³	0.1	0.1	0.1
歩車道境界ブロック	150/170×200×600	個	165.0	-	-
歩車道境界ブロックB1	160/170×100×600	個	-	165.0	-
歩車道境界ブロック	163/170×70×600	個	-	-	165.0

車乗入用・歩行者横断用切下げ部・摺付け部街きょ構造図(1035型)

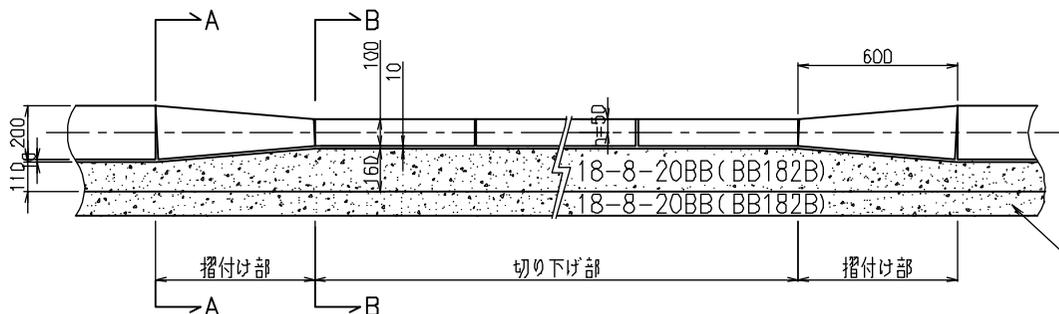
(エプロン横断勾配6%)

排水工

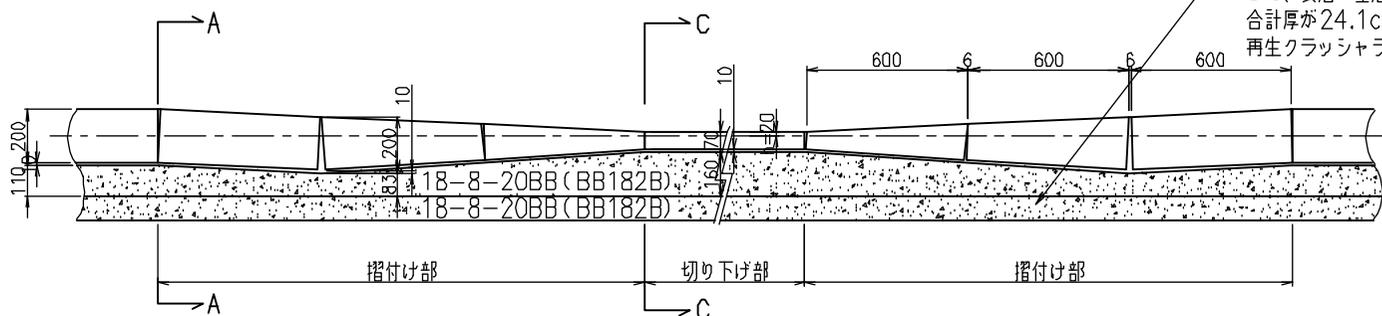
街きょ築造工

1035 摺付け部
切下部

正面図(車乗入れ部用・1段落し) S=1:20



正面図(歩行者横断用・3段落し) S=1:20



コンクリート 18-8-20BB (BB182B) は調整用として用いる(別途計算)
基礎工は車道路盤に準ずる
また、表層・基層・アスファルト処理混合物層の合計厚が24.1cm以下の場合には再生クラッシャーラン(RC-40)基礎を10cmとする

※A-A、B-B、C-C断面はP2303-2参照

材料表

(100m当り)

材料名	形状寸法	単位	車乗入用 1段落し	歩行者横断用 3段落し
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	m ³	10.7	10.8
モルタル 1:3	敷・目地	m ³	0.1	0.1
歩車道境界ブロックA1斜	(150/170×200) ×(160/170×100)×600	個	165.0	-
歩車道境界ブロックB1斜	(150/170×200) ×(155/170×150)×600	個	-	82.5
歩車道境界ブロックC1斜	(155/170×150) ×(160/170×100)×600	個	-	82.5

街きよ構造図 (152型) S=1:10

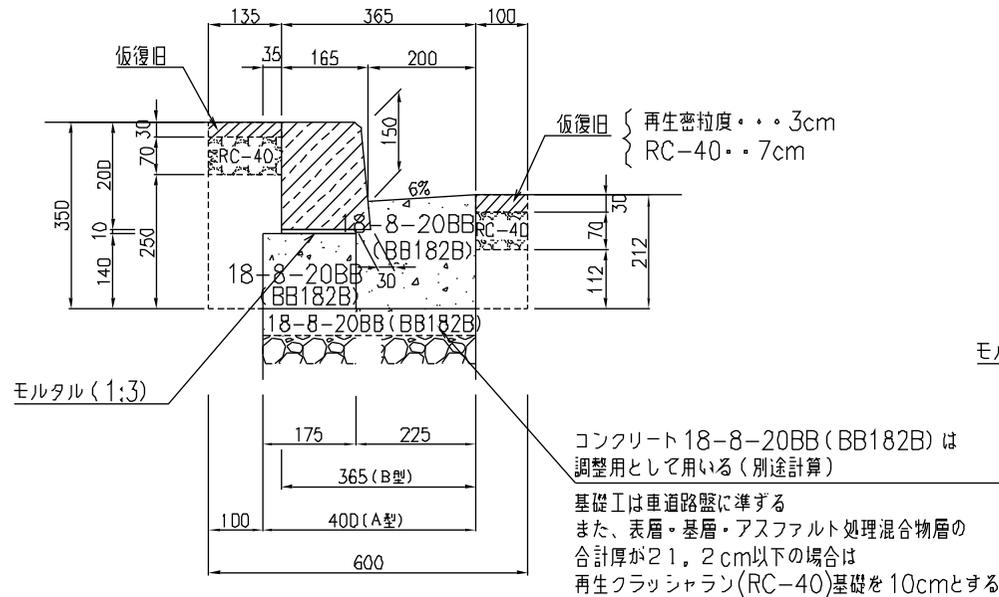
幅200mm A型 B型 (エプロン横断勾配6%)

排水工

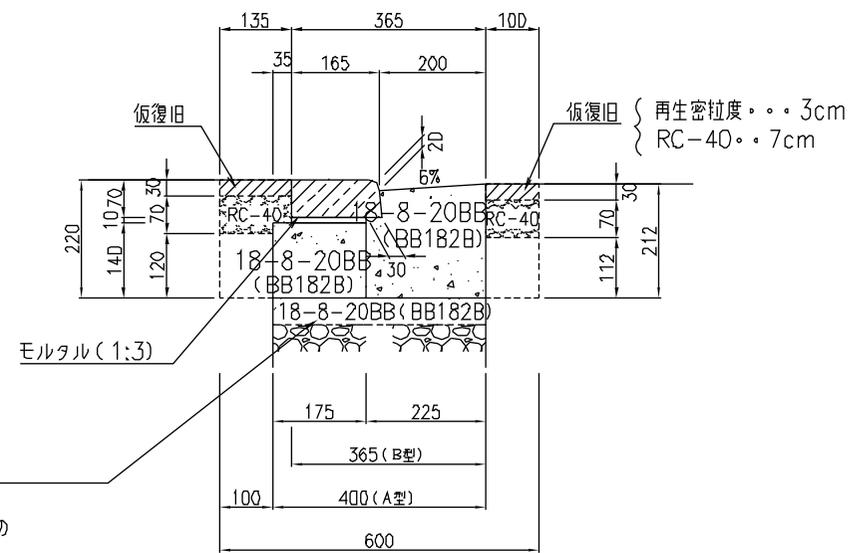
街きよ築造工

152用 一般部
巻込部・切下部

一般部断面図



巻込部・歩行者横断用切下部(2cm)断面図



- ※仮復旧については参考とし、打替路線の舗装によること。
- ※街きよます間中央に施工目地を設ける。
ただし、1.0m未満の場合は除く。
- ※各ブロック間には、目地モルタルを設ける。

材料表

(100m当り)

材料名	形状寸法	単位	一般部	巻込部・歩行者横断用切下部
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	m ³	6.9	6.9
モルタル 1:3	敷・目地	m ³	0.1	0.1
歩車道境界ブロック	150/170×200×600	個	165.0	-
歩車道境界ブロック	163/170×70×600	個	-	165.0

街きよ構造図(102型) S=1:10

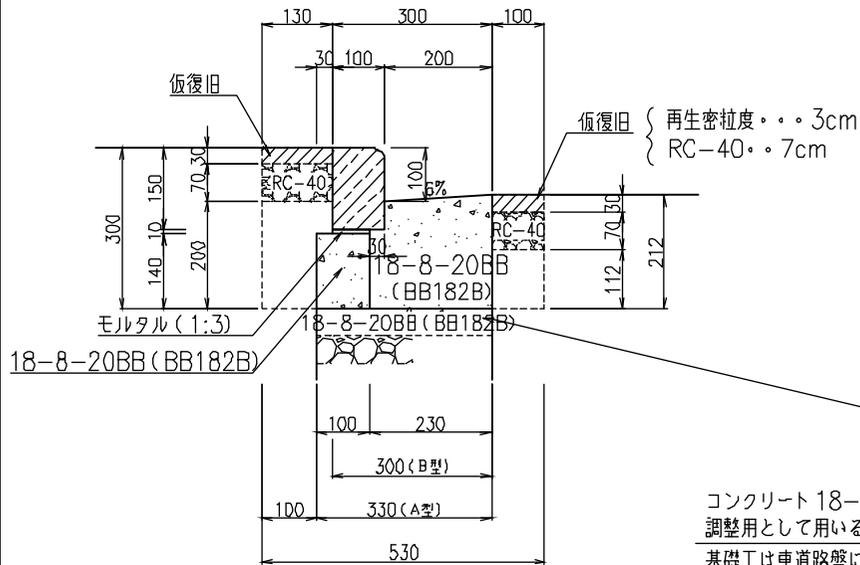
幅200mm A型 B型(エプロン横断勾配6%)

排水工

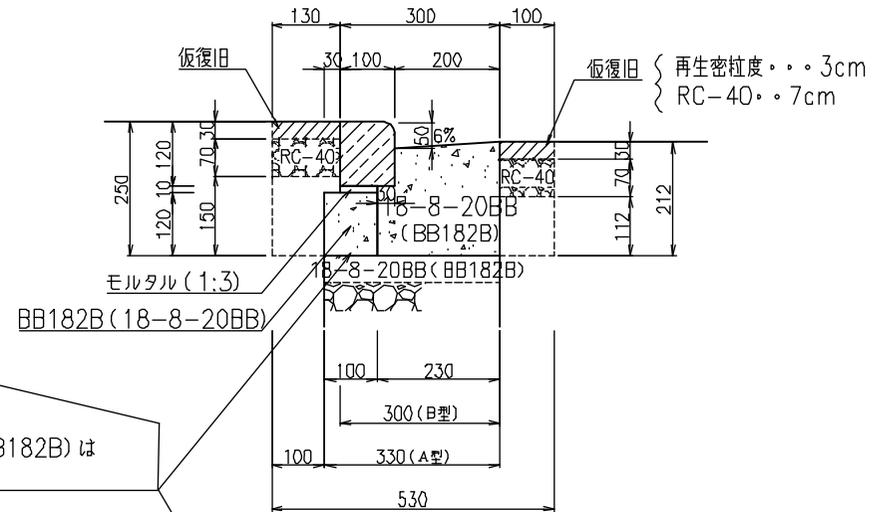
街きよ築造工

102用 一般部
車乗入用切下部
巻込部・切下部

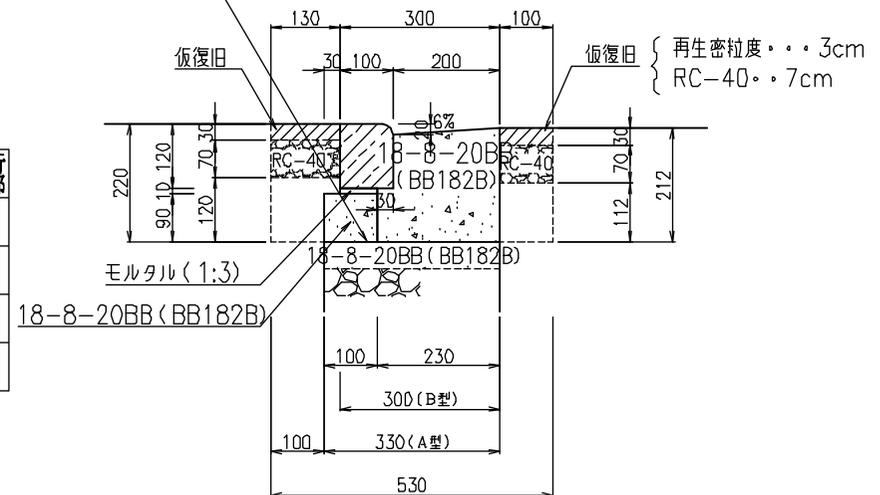
一般部断面図
(A-A断面図)



車乗入用・切下部(5cm)断面図
(B-B断面図)



巻込部・歩行者横断用切下部(2cm)断面図
(C-C断面図)



※仮復旧については参考とし、打替路線の舗装によること。
※街きよます間の中央に施工目地を設ける。
ただし、1.0m未満の場合は除く。
※各ブロック間には、目地モルタルを設ける。

コンクリート18-8-20BB(BB182B)は調整用として用いる(別途計算)
基礎工は車道路盤に準ずる
また、表層・基層・アスファルト処理混合物層の合計厚が21.2cm以下の場合
再生クラッシャーラン(RC-40)基礎を10cmとする

材料表

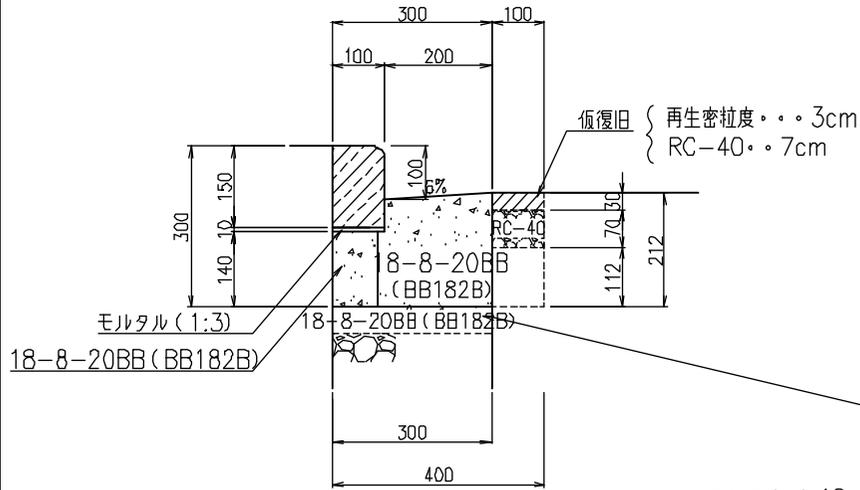
材料名	形状寸法	単位	(100m当り)		
			一般部	車乗入用切下部	巻込部・歩行者横断用切下部
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	m ³	6.0	5.7	5.9
モルタル1:3	敷・目地	m ³	0.1	0.1	0.1
歩車道境界ブロック	面取りブロック 100×150×600	個	165.0	-	-
歩車道境界ブロック	面取りブロック 100×120×600	個	-	165.0	165.0

街きよ構造図(102型) S=1:10

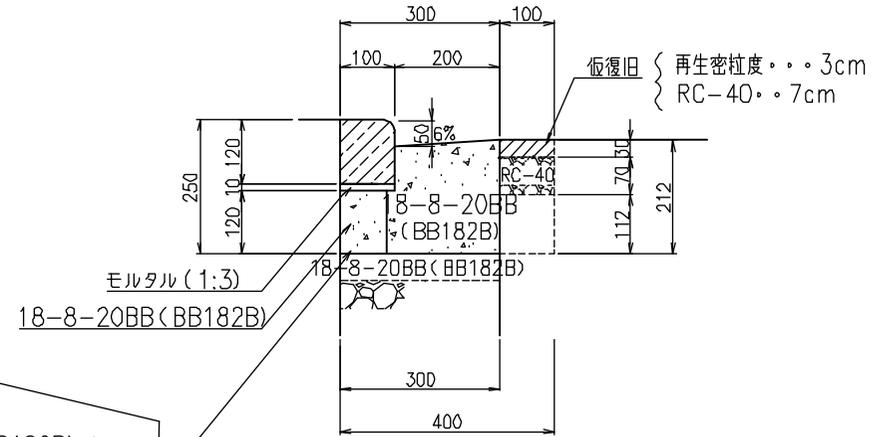
幅200mm A型 B型(エプロン横断勾配6%)

排水工
街きよ築造工
102用 一般部 車乗入用切下部 巻込部・切下部

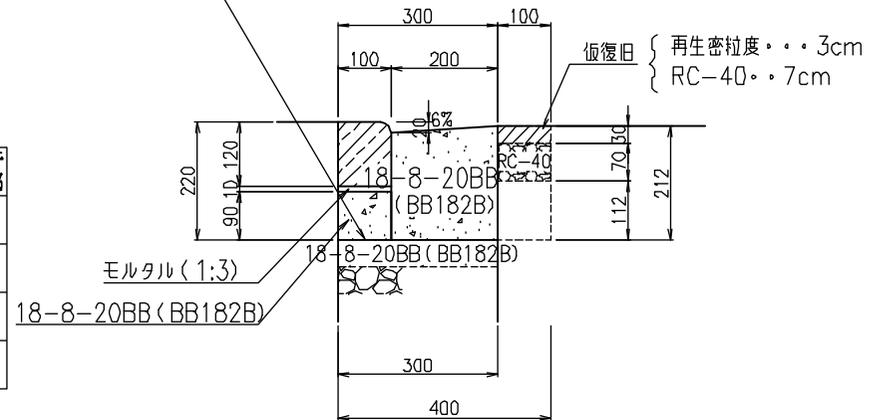
一般部断面図
(A-A断面図)



車乗入用・切下部(5cm)断面図
(B-B断面図)



巻込部・歩行者横断用切下部(2cm)断面図
(C-C断面図)



※仮復旧については参考とし、打替路線の舗装によること。
※街きよます間の中央に施工目地を設ける。
ただし、10m未満の場合は除く。
※各ブロック間には、目地モルタルを設ける。

コンクリート 18-8-20BB (BB182B) は調整用として用いる(別途計算)

基礎工は車道路盤に準ずる
また、表層・基層・アスファルト処理混合物層の合計厚が21.2cm以下の場合
再生クラッシャーラン(RC-40)基礎を10cmとする

材料表

材料名	形状寸法	単位	(100m当り)		
			一般部	車乗入用切下部	巻込部・歩行者横断用切下部
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	m ³	5.6	5.4	5.1
モルタル 1:3	敷・目地	m ³	0.1	0.1	0.1
歩車道境界ブロック	面取りブロック 100×150×600	個	165.0	-	-
歩車道境界ブロック	面取りブロック 100×120×600	個	-	165.0	165.0

車乗入用・歩行者横断用切下げ部・摺り付け部街きょ構造図(102型)

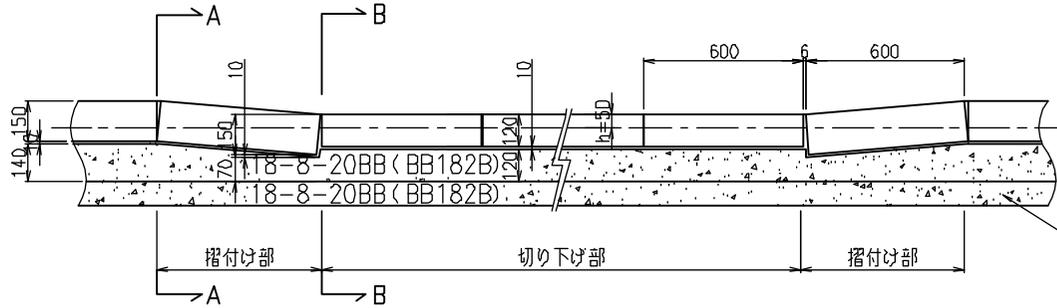
(エプロン横断勾配6%)

排水工

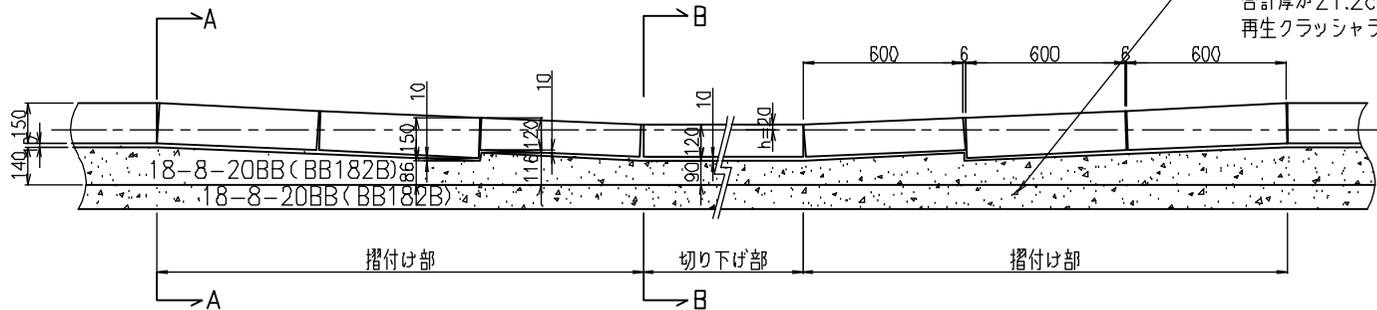
街きょ築造工

102 摺り付け部
切下部

正面図(車乗入れ部用・1段落し) S=1:20



正面図(歩行者横断用・3段落し) S=1:20



コンクリート 18-8-20BB (BB182B) は調整用として用いる(別途計算)

基礎工は車道路盤に準ずる
また、表層・基層・アスファルト処理混合物層の合計厚が21.2cm以下の場合
再生クラッシュラン(RC-40)基礎を10cmとする

材料表

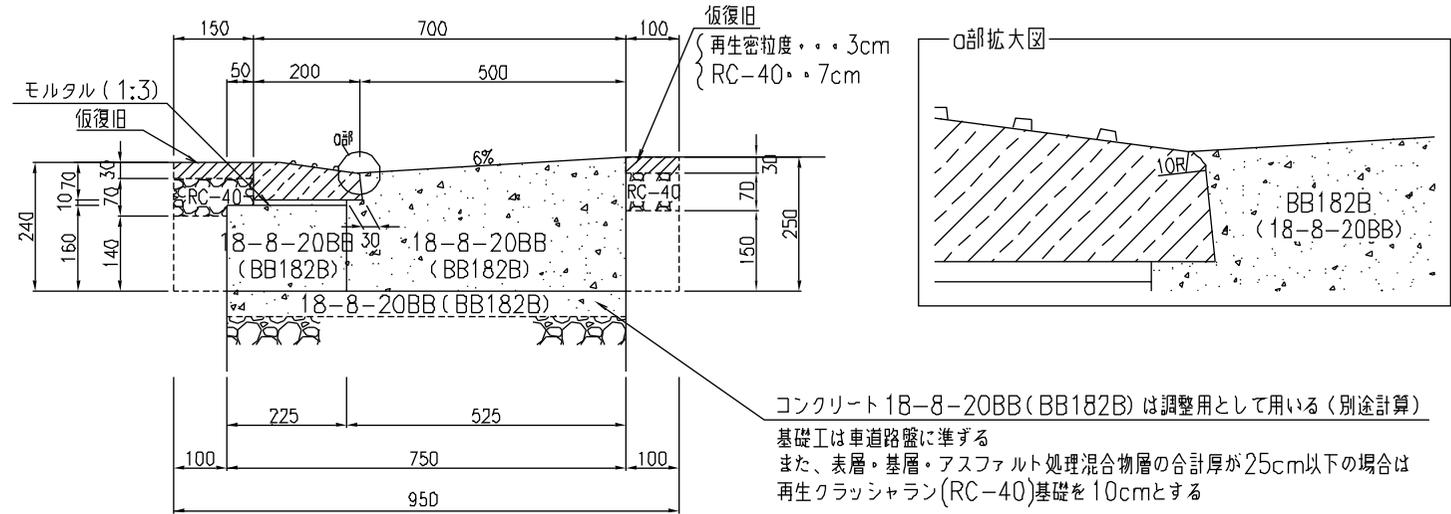
(100m当り)

材料名	形状寸法	単位	車乗入用 1段落し	歩行者横断用 3段落し
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	m ³	6.9	6.7
モルタル 1:3	敷・目地	m ³	0.1	0.1
歩車道境界ブロック	面取りブロック 100×150×160	個	165	82.5
歩車道境界ブロック	面取りブロック 100×120×160	個	-	82.5

※A-A、B-B、C-C断面はP2306-2参照

セーフティブロック構造図 S=1:10 (B-B断面図)

排水工
街きよ築造工
セーフティブロック



※仮復旧については参考とし、打替路線の舗装によること。
※街きよます間の中央に施工目地を設ける。
ただし、1.0m未満の場合は除く。
※各ブロック間には、目地モルタルを設ける。

材料表 (100m当り)

材料名	形状寸法	単位	数量
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	m ³	15.8
モルタル 1:3	敷・目地	m ³	0.1
セーフティブロック	50/205×70×600	個	165.0

歩行者横断用切下げ部・摺り付け部街きょ構造図（155型-セーフティブロック）

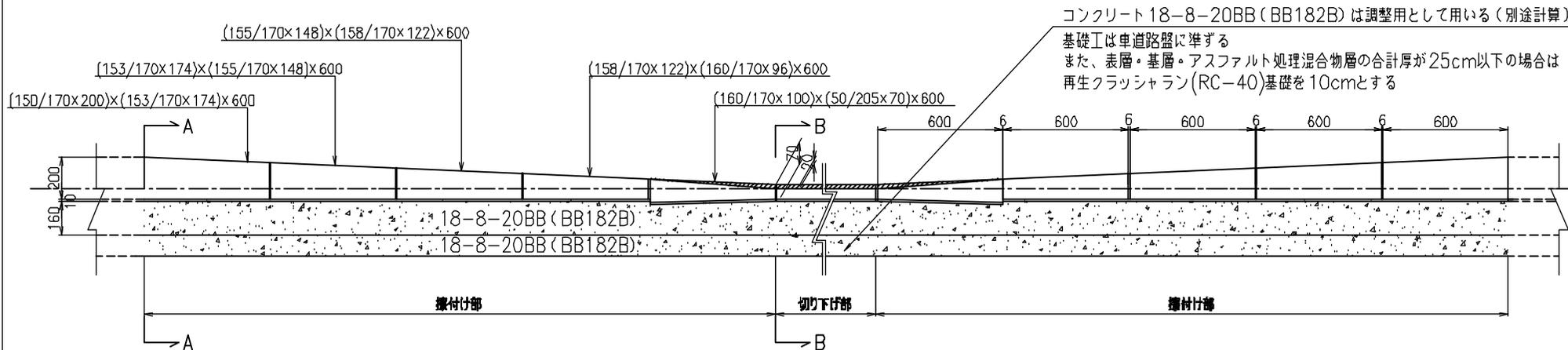
（エプロン横断勾配 6%）

排水工

街きょ築造工

155-セーフティブロック
摺り付け部
切下げ部

正面図（歩行者横断用・5段落し） S=1:20



材料表

（両側100箇所当り）

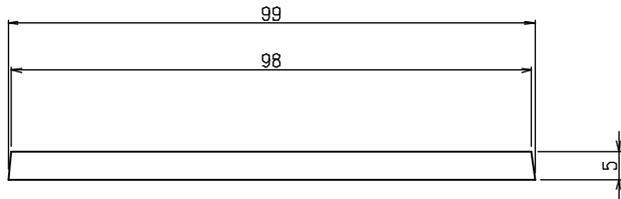
材料名	形状寸法	数量	単位	摘要
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	91.0	m ³	
モルタル 1:3	敷・目地	0.9	m ³	
型枠		345.4	m ²	
歩車道境界ブロック	(150/170×200) ×(153/170×174)×600	200	個	
〃	(153/170×174) ×(155/170×148)×600	200	個	
〃	(155/170×148) ×(158/170×122)×600	200	個	
〃	(158/170×122) ×(160/170×96)×600	200	個	
〃	(160/170×100) ×(50/205×70)×600	200	個	

※本材料表は、摺り付け部両側の数量である。

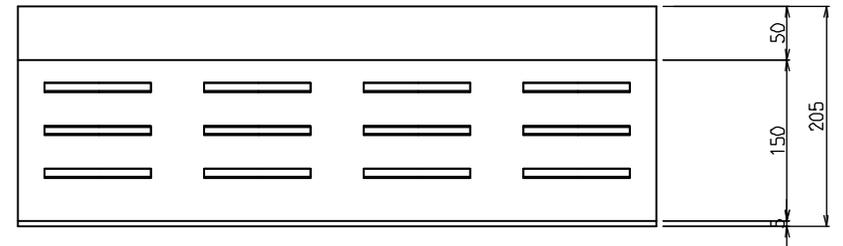
セーフティブロック詳細図

排水工
街きよ築造工
切下部
セーフティブロック

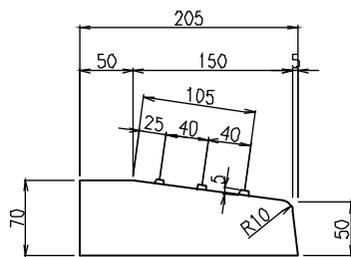
凸部詳細図 S=1:1



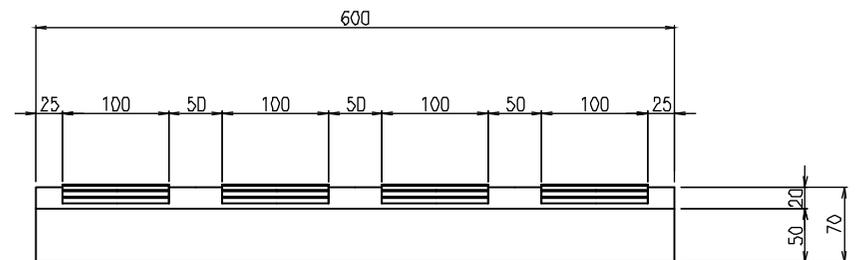
平面図 S=1:5



断面図 S=1:5



正面図 S=1:5

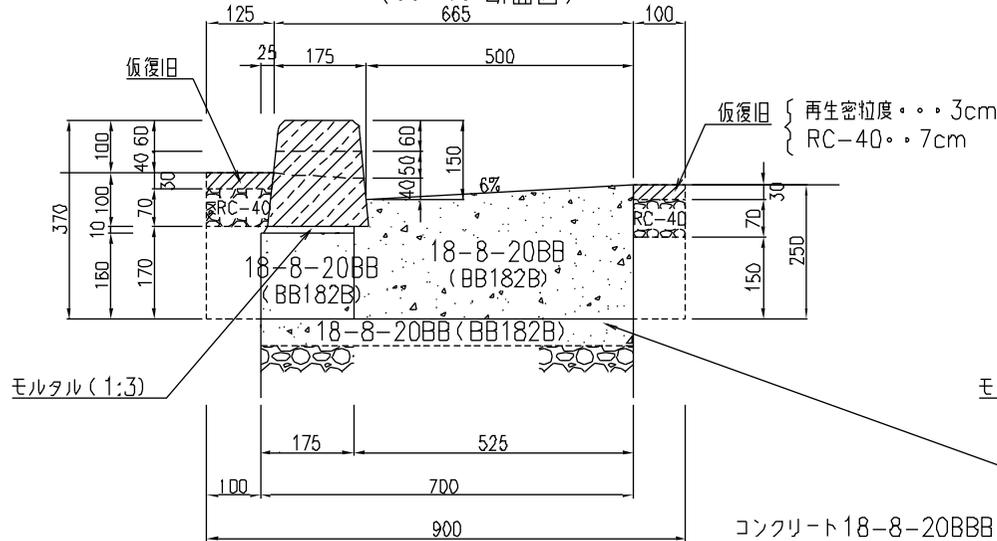


街きょ構造図(155SF型) S=1:10

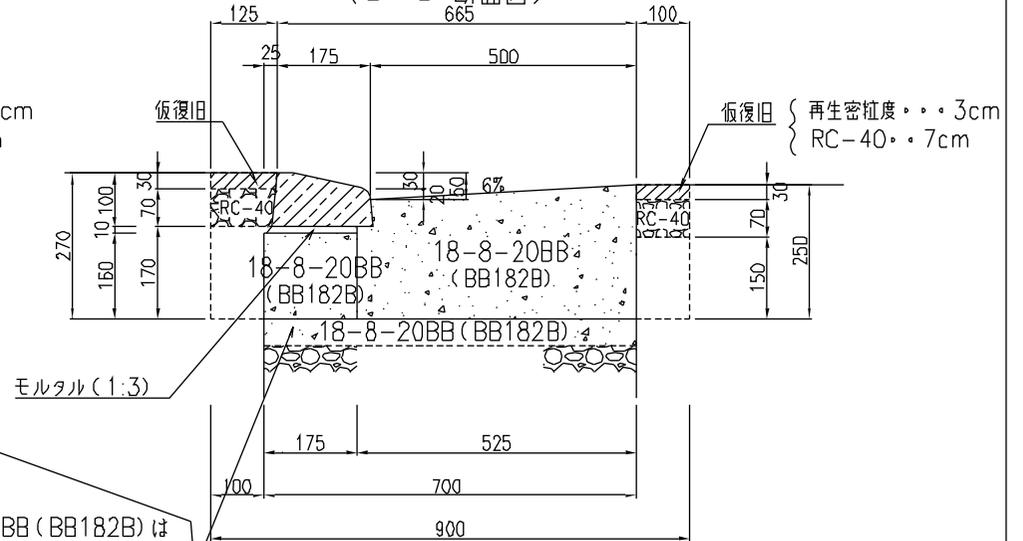
幅500mm(エプロン横断勾配6%)

排水工
街きょ築造工
155SF用一般部 車乗入用切下部 端末部

一般部断面図
(A-A断面図)



車乗入用切下部(5cm)断面図
(B-B断面図)

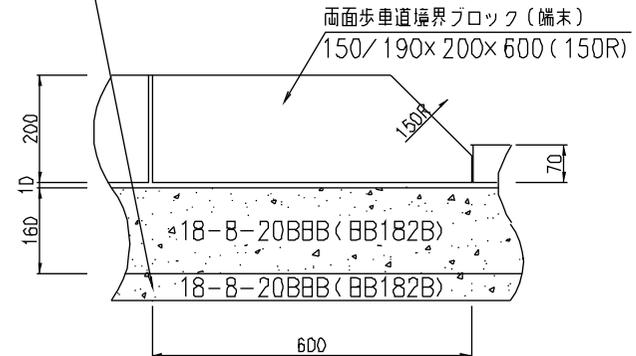


※仮復旧については参考とし、打替路線の舗装によること。
※街きよます間の中央に施工目地を設ける。
ただし、10m未満の場合は除く。
※各ブロック間には、目地モルタルを設ける。

コンクリート18-8-20BB (BB182B)は調整用として用いる(別途計算)

基礎工は車道路盤に準ずる
また、表層・基層・アスファルト処理混合物層の合計厚が25cm以下の場合
再生クラッシュラン(RC-40)基礎を10cmとする

端末部正面図



材料表

(100m当り)

材料名	形状寸法	単位	一般部	車乗入用切下部
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	m ³	15.0	15.0
モルタル 1:3	敷・目地	m ³	0.2	0.2
両面歩車道境界ブロックA	150/190×200×600	個	83.0	-
両面歩車道境界ブロックA-SF	150/190×200×600 (水抜き)	個	82.0	-
歩道切下げコンクリートブロックA-SF	173/190×100×600	個	-	165.0

車乗入用歩道切下部街きょ構造図 (155SF型)

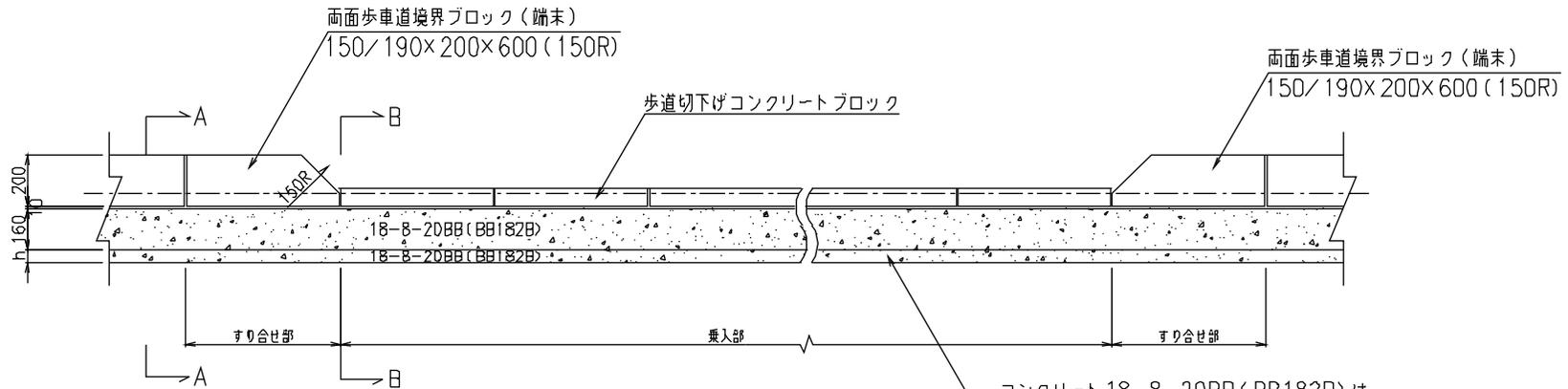
(エプロン横断勾配 6%)

排水工

街きょ築造工

155SF 切下部

正面図 S=1:20



コンクリート 18-8-20BB (BB182B) は調整用として用いる (別途計算)

基礎工は車道路盤に準ずる
また、表層・基層・アスファルト処理混合物層の合計厚が 25cm 以下の場合には再生クラッシュラン (RC-40) 基礎を 10cm とする

※各ブロック間には、目地モルタルを施すこと。

※A-A、B-B断面はP2314-1参照

材料表

(両側100箇所当り)

材料名	形状寸法	数量	単位	摘要
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	18.0	m ³	
モルタル 1:3	敷・目地	0.2	m ³	
両面歩車道境界ブロック(端末)	150/190×200×600(150R)	200.0	本	

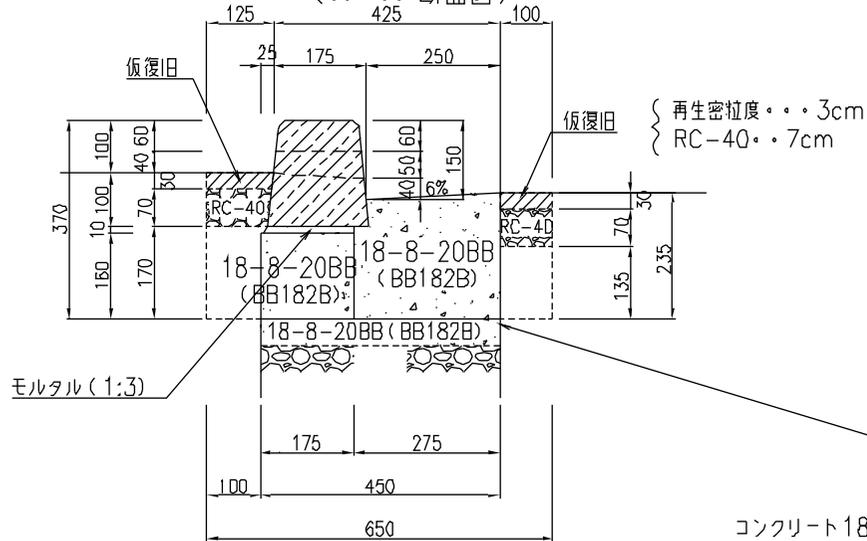
※本材料表は、すり合せ部両側の数量である。

街きょ構造図(1525SF型) S=1:10

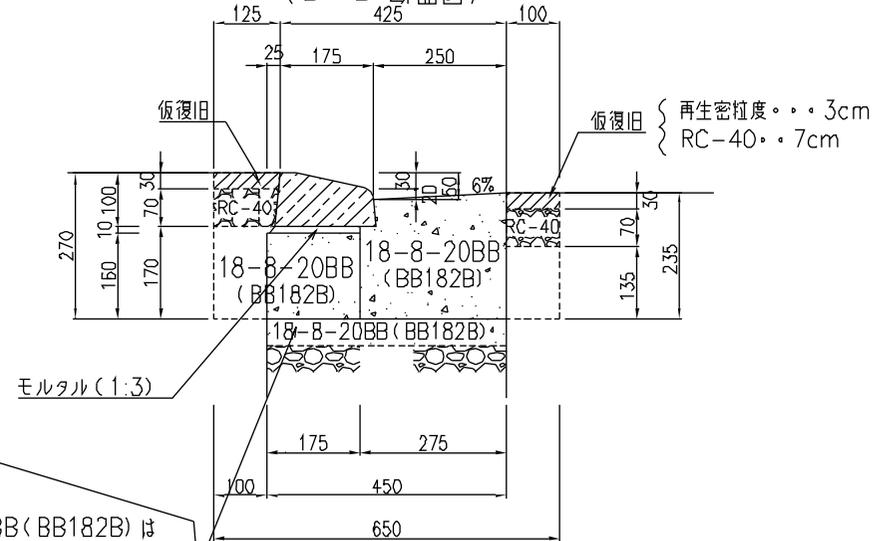
幅250mm (エプロン横断勾配6%)

排水工
街きょ築造工
1525SF用 一般部 車乗入用切下部 端末部

一般部断面図
(A-A断面図)



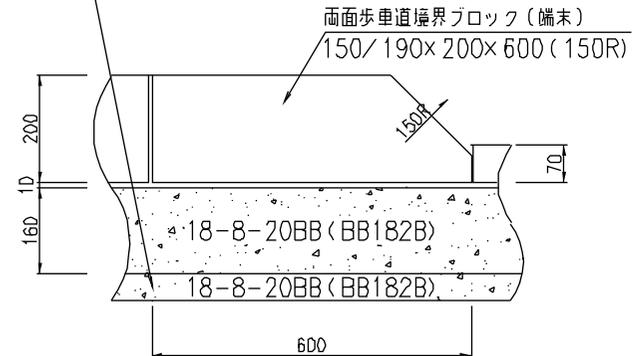
車乗入用切下部(5cm)断面図
(B-B断面図)



※仮復旧については参考とし、打替路線の舗装によること。
※街きよます間の中央に施工目地を設ける。
ただし、10m未満の場合は除く。
※各ブロック間には、目地モルタルを設ける。

コンクリート18-8-20BB(BB182B)は調整用として用いる(別途計算)
基礎工は車道路盤に準ずる
また、表層・基層・アスファルト処理混合物層の合計厚が25cm以下の場合、再生クラッシュラン(RC-40)基礎を10cmとする

端末部正面図



材料表

(100m当り)

材料名	形状寸法	単位	一般部	車乗入用切下部
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	m ³	11.2	11.2
モルタル 1:3	敷・目地	m ³	0.2	0.2
両面歩車道境界ブロックA	150/190×200×600	個	83.0	-
両面歩車道境界ブロックA-SF	150/190×200×600 (水抜き)	個	82.0	-
歩道切下げコンクリートブロックA-SF	163/170×70×600	個	-	165.0